



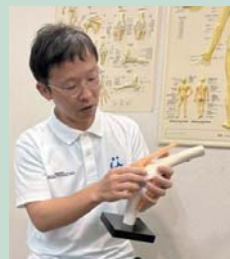
### 治すだけじゃ終わらない。 痛みのその先へ

携帯の待受画面が人体模型という、ちょっと変わった「ひでき整骨院」の中野先生をご紹介します。生粋の名張人で、「地域の健康を支えたい」と治すだけで終わらない、痛みの根本的な原因を生活習慣から見直す治療を続けています。

中野先生が最も大切にしているのは、患者さんとのコミュニケーション。なんと、患者さんの名前をすべて覚えているそう！施術中の会話を通して、普段の生活や悩み、治療の目的まで丁寧に理解することを心がけているんだとか。名前や症状、回復の経過を覚えるのも、その人の体の変化を長期的に見守るためです。

プライベートでは子どもと遊ぶ時間を大切に、趣味はカフェ巡り。コーヒーが大好きで毎朝サイフォンでコーヒーを淹れるこだわり派。体型維持のため運動や食事のバランスにも気を配っているそうです。

実は私（筆者）も通院していますが、心身ともにほっとできる空間です。治療に来たはずなのに、ついつい、お話に夢中になって時間を忘れてしまうことも…。



市民 PR チームが Instagram で  
綴ったなばりの魅力をご紹介します！



### おでかけしませんか？

## 「旧町」登録有形文化財めぐり

「登録有形文化財」とは、建築から 50 年以上が経過した歴史的建造物のうち、保存と活用が図られているものを国が登録する制度です。「重要文化財」と違い、規制が比較的緩やかなため、現役の店舗や住宅として使いながら、歴史的な魅力を守る「活用のための保存」を大切にしています。



市内の  
指定文化財

名張市内の「旧町」エリアには、13カ所もの登録有形文化財が点在（3月末現在）。自分で写真を撮って、名張駅西口の観光案内所などで見せれば、登録有形文化財の「トレーディングカード」がもらえます！（数に限りあり）



トレーディングカードは、三重県建築士会が作成しています。

### 国の文化審議会は、3月、市内で新たに2カ所・3件を登録有形文化財として文部科学大臣に答申



長慶寺本堂・庫裡



旧高北家住宅母屋

◎ 詳しくは、登録された後に「広報なばり」でご紹介します。



登録有形文化財  
山中家住宅（本町）

じもと再発見  
なばりじまん



## 国の登録有形文化財がホテルに変身

### その名も、kyucho hotel（旧町ホテル）

本町にある国の登録有形文化財「山中家住宅」が、4月20日、「Kyucho hotel（旧町ホテル）」としてオープンしました。1853年（嘉永6年）に建てられ、伊能忠敬測量隊も宿泊したという歴史ある建物です。三間続きの壮麗な座敷や精緻な釘隠しなど、江戸時代の面影が色濃く残る空間で、最大8人まで宿泊可能。歴史の風情を感じながらも、キッチンや和洋室を備えた快適な滞在が楽しめます。

空き家活用に定評のある企業が物件取得を主導。同社と連携し、持ち主や地域の皆さんと丁寧な信頼関係を築き上げてきたのが、運営を担う北森仁美さんと野山直人さん（上写真）でした。長い間利用されていなかった貴重な建物を次世代へつないでいこうと奔走し、「ようやくこの日を迎えられることに嬉しい。歴史と温かみを感じるこの場所から、まちの暮らしを肌で感じてほしい」と笑顔を見せます。

「コンセプトは、「まちの暮らしを、そのままに」。宿泊客が地元の商店や飲食店を巡るなど、まち全体でのおもてなしを大切にしています。人とつながるマップの作成や、地元住民が案内役を務める「まち歩き」なども企画。このホテルを起点に「旧町」エリア全体の賑わいを循環させる、新たなまちづくりの挑戦が始まっています。